

海峡エリアの魅力再発見！

エリアビジョン推進室 ☎ 231-5838

下関駅から火の山までの海峡沿いは、観光スポットが多く、非常に重要な場所です。

令和元年、このエリアの魅力を改めて発掘し、ブラッシュアップを図るため、市では「まちの魅力再発掘プロジェクト」を開始しました。

市民ライターが、下関らしい個性や独自性の高い魅力あるスポットを選定。エリアのガイドブック「d design travel WORKSHOP 下関海峡エリア号」を作成しました。また、市民の皆さんとのワークショップである「サキミル会議」を重ね、エリアの現状と課題、可能性を市民の皆さんと共有することができました。

これから始まる「カイキョーソトアソビ」は、キャンプなどを通して、より多くの市民の皆さんに、海峡エリアの魅力を再発見していただくために行うものです。

今後、市ではこれらをもとにエリアビジョンを策定し、海峡エリアの持続的なにぎわいづくりを実現していきます。



イラスト/宮田浩徳



前田市長の

海峡エリアへの想い

下

関市の長い歴史の中で、今、まちづくりの大きな転換点にきています。

かつてあるかぼーとエリアは、線路が通って、倉庫が並んでおり、開けた景観ではありませんでした。

「このエリアを開けた土地にし、関門海峡の雄大で癒される景色を中心に据えた、素晴らしいエリアにしていこう」と再開発が始まったのは、昭和62年。平成13年には海響館がオープンしました。

そして今、ホテルの開業に向けて計画が進んでいる星野リゾートのチャレンジを、下関の命運をかけてサポートしたいと思っています。

火の山の山頂は「日本夜景遺産」にも認定され、何回上がったも下関の良さを感じられる場所ですが、展望台は老朽化のため解体し、ロープウェイも老朽化が進んでいます。そこで何が火の山エリアに

必要なのか、フラットに検討し、火の山地区観光施設再編基本構想を策定しました。

ウォーターフロント、海響館、唐戸にも力を入れ、よみがえらせ、磨き上げることで、観光客が長く滞在する観光地に生まれ変わらせることができます。

海峡エリアのビジョンのポイントには、ウォーターフロントで子どもたちに感動を与えつつ、人を滞在させ続けるヒントを得る事業の模索と、火の山での構想の実現可能性だと考えています。

これから、血が通っていて、おもしろい、夢のある政策を作り上げていきたいと思っています。市民の皆さんも海峡エリアの魅力を再発見してみてください。



下関市長 前田晋太郎

カイキョーソトアソビ

10月29日(金) ▶▶ 11月28日(日) (予定)

海峡の風を感じながら、さまざまな体験をして、海峡エリアの魅力を再発見してみませんか。

ソトアソビの開催日時や内容は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に配慮して、随時見直しを行います。そのため、内容を変更または延期、中止する場合があります。



アスレチック/ファミリー
デイキャンプ/ツリーク
ライミング/キャンプ/
and more...!



※写真はイメージです



海峡エリア賑わい
創出実行委員会
委員長 吉田 悟さん

私たちの日常にいつもある下関の自然、海峡や山は、あえて意識する必要が無いほど、それそのまま魅力的です。新型コロナウイルスの影響により、私たちは遠くに行かなくとも普段の生活の中に「魅力的な自然」があることに気が付き始めています。「そのままの魅力」を存分に楽しめる内容にしていきたいと思います。

カイキョーソトアソビの詳細

日時、内容、予約方法など、詳しくはQRコードを読み込むか「カイキョーソトアソビ」で検索し、ホームページで確認してください。

※ホームページで予約受け付け

※コロナ感染状況に配慮し、内容を随時見直します。最新情報はこちらから

